

平成29年5月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成29年5月24日(水)

II. 開会及び閉会
開会 12時54分
閉会 15時06分

III. 出席委員

教 育 長	柴 崎 伸 次
委 員	淵 本 晴 生
委 員	川 島 ゆ か
委 員	片 山 工

IV. 出席職員

教 育 次 長	近 成 昌 行
総務学務課長	青 山 祐 志
総務学務課参事	松 田 典 久
社会教育課長	馬 場 昌 一
中央公民館長	今 吉 崇 文
総務学務課係長	安 井 明 子
総務学務課主幹	山 本 三 千 代

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

柴崎教育長

- 都市教育長協議会(4/19)について
- 教育問題懇談会(4/26)について
- 備前長船刀剣博物館協議会(5/9)について
- 校長会(5/12)について
- 夢ニコンクールについて

3. 前回会議録の承認

署名委員 川島 ゆか 委員 片山 工 委員

4. 議 事

柴崎教育長 議事進行

第 32 号議案 臨時職員採用等について
青山課長 (資料を基に説明)

全 委 員 <異議なし>

第 33 号議案 学校評議員の委嘱について
松田参事 (資料を基に説明)

全 委 員 <異議なし>

第 34 号議案 瀬戸内市文化財保護委員の任命について
馬場課長 (資料を基に説明)

全 委 員 <異議なし>

第 35 号議案 弘法寺脚供養総合調査現地調査員の委嘱について
馬場課長 (資料を基に説明)

全 委 員 <異議なし>

第 36 号議案 平成 29 年度 6 月補正予算案について

青山課長 (資料を基に説明)

馬場課長 (資料を基に説明)

今吉館長 (資料を基に説明)

淵本委員 放課後子ども教室事業について、放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体型ということであるが、具体的に説明をお願いしたい。

馬場課長 裳掛地区には放課後児童クラブがあり、今回の放課後子ども教室は別の施設である。現在、裳掛コミュニティで教師のOBの方が講師となって寺子屋をされており、岡山大学の学生が学習支援にきている。それを放課後子ども教室として位置づけをし、裳掛小学校内に設置しようとするものである。この放課後子ども教室に放課後児童クラブの子どもが希望すれば、放課後子ども教室で学習ができるという体制をつくるもので、放課後子ども教室と放課後児童クラブが一緒になるものではない。

淵本委員 放課後子ども教室だけの子ども、放課後児童クラブだけの子ども、両

方行く子どもがいるということか。

馬場課長 そうである。学校内に設置される放課後子ども教室で、学習支援をするための ICT 機器の購入について国より 100%補助があるというものである。

淵本委員 条件として学校の施設内に放課後子ども教室がないといけないのか。裳掛地区においては実績があるから実現できるが、他の学校内に放課後児童クラブがあり、そこで放課後子ども教室を開こうと思ってもその条件が満たされなければ難しいということなのか。

馬場課長 学校の側にあれば可能である。

川島委員 場所の確保はどこかの教室を使うということか。

馬場課長 1週間に1回、その時間帯のみ放課後子ども教室として場所を確保して行う。

柴崎教育長 もともと、放課後子ども総合プランがあり、その中において、文部科学省の放課後子ども教室と厚生労働省の放課後児童クラブの両方を小学校敷地内に組み込んでいこうという計画であった。一体型として小学校敷地内に両方があれば国からの補助があるというもので、敷地外にある場合は対象外となっていたが、昨年に放課後子ども教室か放課後児童クラブのどちらかが学校敷地内にあれば、放課後子ども教室に対して ICT 機器や学習支援等の補助を行うという補正予算が成立した。裳掛地区の現状は、小学校の隣にコミュニティがあり、そこに寺子屋がある。また、道路を挟んだところに放課後児童クラブがあるため、このままでは補助対象とならない。そこで、裳掛コミュニティの寺子屋を放課後子ども教室に位置付け、裳掛小学校の一部を一定の時間のみボランティアによる運営として借用することで、どちらかが学校内にあるという仕組みを作った。

淵本委員 今回の場合は民間の方がコミュニティでされていた寺子屋を放課後子ども教室とする。民間であるのに関わらずに国から補助がでるということか。

柴崎教育長 放課後子ども教室としての仕組みづくりが重要であり、市において放課後子ども総合プランとしての明確な計画を策定しなければならない。現在、他の小学校には放課後子ども教室に相当するものはない。裳掛地区においては仕組みづくりを変更すれば可能であった。仕組みづくりにおいて重要なことは、放課後児童クラブにいる子どもが誰でも放課後子ども教室に行くことができることである。

淵本委員 どちらかが敷地内にあればよいのであれば、放課後児童クラブが敷地内にある小学校は、放課後子ども教室をやろうと思えば誰でもすることが可能なのか。

- 柴崎教育長 可能である。小学校の敷地内に放課後児童クラブが出来ればやりやすくなる。放課後子ども教室の本来の目的は、児童の安全・安心な居場所を確保することである。
- 川島委員 今回の備品購入は、岡山大学の学生が ICT の機器などが必要ということなのか。
- 馬場課長 機器の選定にあたっては、学校側にも意見を聞いている。
- 片山委員 岡山県建設技術センター建築営繕技術支援に係る費用の内容について説明してほしい。
- 近成次長 今年度については、呂久中学校の大規模改造工事等や牛窓北小学校の工事、環境部局所管の公共施設等先進的 CO2 排出削減対策モデル事業で中学校のエアコン取付けなどがある。事務量が多く人員不足になるということで、昨年度末に建築技師の募集をしたが、応募者の中に適任者がいなかったため採用をあきらめた。CO2 モデル事業については、実際の工事場所が学校となるため、学校側と工事業者側の調整を環境部局ではなく教育委員会の職員が対応するしかないと考えている。旧体制のまま今年度に入ったため、呂久中学校や牛窓北小学校の工事等で手一杯になるという判断を下し、学校関係以外のものについて外部にお願いすることとした。公益財団法人岡山県建設技術センターに建築技師がおられたためお願いしたところ、8月頃から対応可能ということで、補佐対応してもらおう支援業務の委託でお願いすることになった。
- 片山委員 この費用は人件費ということか。
- 近成次長 業務委託費用である。
- 青山課長 他市では教育委員会部局に建築技師が配属されている。
- 近成次長 現在も建築技師の募集は継続中である。来年度から採用できればこの業務は今年度で終了し、採用できなければ来年度も継続する場合もある。大規模改造工事が終了しても瀬戸内市学校施設長寿命化計画に基づき年々工事があるため、教育委員会としては専属で建築技師を採用したい。
- 川島委員 チャレンジワークの補助金について、牛窓中学校は対象となっていて、この度長船中学校が3日から4日になり対象となったということだが、呂久中学校は対象にならないのか。対象の補助金とは保険か。
- 青山課長 保険の金額のみが補助対象となっている。
- 近成次長 呂久中学校については、チャレンジワークの受入側の体制が整っていない。
- 松田参事 呂久中学校は生徒が多いことと、受入側で3日と4日の日程の差があり、不具合が生じるため難しい。
- 全委員 <異議なし>

第 37 号議案 瀬戸内市立美術館条例施行規則の一部改正について

第 38 号議案 備前おさふね刀剣の里条例施行規則の一部改正について

馬場課長 (資料を基に説明)

片山委員 刀剣博物館は、教育的な活動以外でも中学生以下は無料だったと思う。特別展などで料金を徴収したことがあるがそのことか。整合性が無いと思われる。

馬場課長 学校の教育的な活動の場合は、児童生徒だけでなく引率の教師も無料としている。

柴崎教育長 障害者手帳を所持している人も今まで運用で行っていたが、その根拠となる規則の整備がなされていなかった。

川島委員 障害者手帳を提示すると無料で入館出来たのか。

片山委員 障害者手帳を提示すると無料で、付き添いの方も無料としていた。

全委員 <異議なし>

5. その他

(1) 瀬戸内市立学校に勤務する県費負担教職員の人事評価制度に係る苦情相談及び苦情処理に関する要綱について

松田参事 (資料を基に説明)

淵本委員 教職員に対する広報はどのようにされているのか。

松田参事 学校長に配布し、広報している。平成 28 年度の当初には全教職員に周知をお願いした。

片山委員 教育委員会に対して申し出はあったのか。

松田参事 今のところはいただいていない。

柴崎教育長 人事評価の結果が適用となるのはいつなのか。

松田参事 去年の評価が今年の 6 月の賞与、来年 1 月の昇給に反映される。

(2) 瀬戸内市の小中学校における芸術関係の状況について (井手委員には事前に説明済)

松田参事 小学校においては、定期的な芸術や音楽の鑑賞会を行っている。総合的な学習の時間を利用して、夢二の生家へ行ったり、学芸員を学校に呼んで竹久夢二についての学習や絵の見方を教わったり、実際に生徒達が絵に触れるという活動をしているところもある。また、刀剣博物館などの瀬戸内市の色々な歴史を学び、文化に触れるということを行っている。音楽では、実際に演奏者を招き、生徒達と演奏を楽しんだり聞いたりしている。

中学校においては、美術の授業で唐傘を作成し、その傘に絵を描くという活動をしているところもある。文化としては、文化祭を通じて生徒の作品や文化部の活動を見せることを行っている。また、美術の先生が生徒に色々な絵を見せて、感想や描いた人の思いなどをレポートにして生徒が発表するというようなことを取り組まれているなど、限られた時間数の中でも工夫をしながら、生徒達に芸術的な心や観点を育てていこうとする工夫が感じられた。

(3) その他

淵本委員

部活動や働き方改革について、部活動については2日減らすということは、先生方や生徒の負担を考えると大事な取組だとは思いますが、ただ減らすことだけで考えると、それ以外の日にしわ寄せがいくことが考えられる。せっかくの取組が他のところで守られていないなど全国で違いがあるといけない。減らせばよいというものではなく、どうすれば子どもたちや先生方の負担について他のところへしわ寄せがこないようにするかしっかり考えることが大事なのではないかと思う。

先生方の働き方改革については、先生方にとってはいいことだと思う。気になるのは、悉皆研修が多いと聞いている。研修も大事ではあるが教育委員会で歯止めをかけるなど対応しないとこれからますます先生方は大変ではないか。

連休明けの子ども達や先生方の状況についてはどうだったのか。

松田参事

連休明けに欠席する生徒が増えたとか、欠席がちの先生がいるなどの報告は受けていない。幸いにも昨年度末に比べると、不登校だった生徒が登校できるようになったという報告は受けている。色々な情報が聞こえ次第、できるだけ学校の方へ出向き、様子を見たいと思っている。

柴崎教育長

平成27年度は不登校や長期欠席者が増えたが、平成28年度には落ち着き、全体数としては減ったと思う。部活動もご指摘のとおり、メリハリを付けることも大事である。運動部だけでなく、県内では吹奏楽部で年に1度しか休みがないという中学校もあると聞いている。他の業務負担も含めて検討しながら、1番は子どもと向き合う時間をつくることや良い授業をすることが必要である。

近成次長

(もみわ祭について紹介)

柴崎教育長

邑久中学校が読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けた。邑久中学校は行けなかったが、4月23日の子ども読書の日に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて表彰式があった。

川島委員　　日本遺産についてはこれから市としてどうやって進めていくのか気になっている。刀剣博物館については外国人の入館者が増えた。日本刀の注目度が高まっている中で特別展やコンクールが無くなるなど非常に残念だが、長船の刀剣の聖地で太刀を作って評価してもらうことはすごくいい機会だと思う。今後出来るようにしていただきたい。

柴崎教育長　今年度は刀剣博物館の職員体制をみながら、今後どういう形で開催していくか検討する。

6. 閉　　会　（15時06分閉会）